

平成30年度兵庫県立村岡高等学校卒業証書授与式 校長式辞

村岡の山々にも春の息吹を感じる風が吹くようになった今日の良き日に、香美町町長浜上勇人様をはじめとしますご来賓の皆様のご臨席、卒業生の保護者の皆様のご列席のもと、平成三十九年度兵庫県立村岡高等学校卒業式を執り行うことができますことは、私どもにとってこの上ない喜びであり、誠に嬉しく存じますとともに本校を代表し、深く感謝申し上げます。

先ほど卒業証書を授与しました第五十七期生六十七名の皆さん。ご卒業おめでとうございます。職員一同、心よりお祝い申し上げます。

そして保護者の皆様、本日、お子様のご卒業を迎えられますことを職員一同お喜び申し上げます。誠にありがとうございます。本校入学以来三年間、生徒と共に過ごされた日々を思い出し、その成長を実感されていることと存じます。またその三年間、本校教育活動にご理解並びにご協力賜りましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

今年は、平成最後の卒業式となります。新しい元号と共に村岡高校の80周年に向けた歩みの始まる年に皆さんは本校を卒業されます。高校3年間の生活を振り返っていかがでしたか。「忙しかったこと。」「楽しかったこと。」「しんどかったこと。」それぞれの行事にそれぞれの感想があるのではないかと思います。類型で入学された皆さんは、地域創造系、アウトドアスポーツ系それぞれの地域学入門から始まるカリキュラムの流れに沿って、他校ではできない経験を積み重ねました。地元の調査から課題を見つけ探求し、提案する、プレゼンする、論文にするなど多くの方々のご協力を得て、積極的な活動に取り組みました。アウトドアスポーツ系も但馬ならではの自然環境や施設環境を最大限に活かし、その中で自らが考え、生涯スポーツや観光に結びつける方法を見だし、イベント参加や企画をしました。そして、全校生で取り組んだ総合的な学習の時間では、演舞、紙漉き、棚田保全、森の健康診断、吹奏楽団、食文化班、地域福祉班、集落調査班に分かれ、地域と深く関わり、まさしく地域と協働する学校を体現しました。皆さんの活動を広くお知らせし、地域活性の先頭を走る村岡高校としての意気を発信していくことが、今後私たちに課せられた使命であると考えています。

皆さんが2年生の時に村岡高校に着任した私は、2回の面談を通して、皆さんの成長を肌で感じることができました。その成長の姿は、村岡高校での生活の充実ぶりにも現れていたように思います。そんな皆さんの卒業に当たり、次のような励ましの言葉を贈りたいと思います。

一つ目は、相田みつをさんの「私がこの世に生まれてきたのは 私でなければできない仕事があるからこの世にあるからなのだ」という言葉です。皆さんは、本校の教育指針「人みな使命あり」のもと、自分にできることを探し、課題とし、取り組んできたと思います。卒業後においても自らの目標として、自分にしかできない仕事を探し求め、その追求をし、ぶれない人生を送って欲しいと思います。

二つ目は、「人を動かす」という自己啓発を促す著作を残されたデール・カーネギーという方が言った「一見小さなことに全力で取り組むことを忘れるな、小さなことを一つやり遂げるたびに人間は成長する。小さなことをきちんとこなしていけば大きいことは後から付いてくる」という言葉です。日々の生活において目の前にあることに全力で取り組むことで、成長し、信頼を得、大きなことを果たす力となっていくということですが、皆さんのこれからの人生において最も大切なことだと思います。新しいチャレンジをするために、自らの目標を達成するためには、小さなこと、当たり前のこと、できることを確実にやり遂げる経験を積み重ねていくことが必要です。そういった経験が財産となり、チャレンジにつながります。皆さんは村岡高校でその組み立て方を学んだはずですが、そういった高校での経験を活かし、自らの良さを発揮し、持てる力を最大限に発揮できるよう頑張ってください。

三つ目は、71歳から絵を描き始め、80歳にして有名になったグランマ・モーゼスという女性の画家が言った「人生は自分自身が作るものだ、これまでも、これからもずっと」という言葉です。今までの18年間、皆さんは多くの方々に支えられて成長してきました。その上で成り立ってきた人生ですが、いろいろな人との出会いの中で感じたことは人それぞれだと思います。受け取り方によって、活かし方も違ってきますし、それも自分自身で決めていることだと思います。これからはさらに自分自身でいろいろな情報を取捨選択し、自分に合ったものを選んでいくことになろうと思います。その基準もすべて自分自身で決めていくことに関して、自らの人生を歩む根幹をしっかりと築き、経験を積み上げていってください。人生50年と言われた時代から今や平均寿命が男女とも80年を超える時代になってきました。これからの夢多き人生を謳歌するためにもしっかりと自分自身をもち、自分自身を磨き、生活を充実させていって欲しいと思います。

どの言葉も自分を大切に、ぶれずに、自ら作り上げること、責任感を持ってやり遂げることを示唆してくれています。皆さんなら村岡高校での経験を活かし、しっかりと歩みを進めていってくれるでしょう。

それでは、いよいよ村岡高校を巣立つときが来ました。皆さんの健康と今後ますますのご活躍を職員一同祈念申し上げ、式辞とさせていただきます。

平成三十一年三月二日
兵庫県立村岡高等学校
校長 若浦直樹